

福岡いのちの電話チャリティコンサート

弦楽演奏の夕べ

「いのちの響き」を

最上のキャストでお届けします



大山 佳織 ヴァイオリン

九州交響楽団ヴァイオリン主席奏者



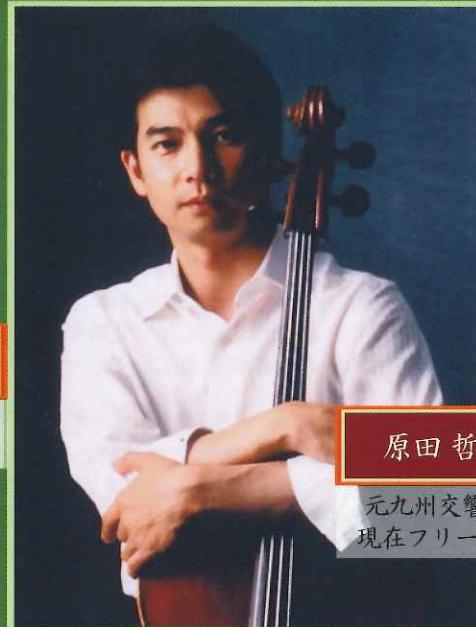
大山 平一郎 ヴィオラ

米国サンタバーバラ室内オーケストラ
音楽監督権常任指揮者



原 雅道 ヴァイオリン

九州交響楽団コンサートマスター



原田 哲男 チェロ

元九州交響楽団首席奏者
現在フリー奏者として活動

3月 10日 (金)

開演 午後7時 開場 午後6時30分

全席自由 2000円

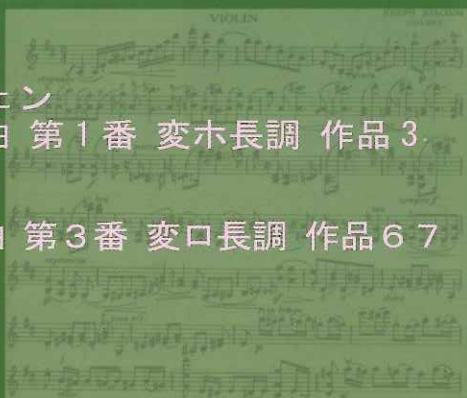
都久志会館ホール

福岡市中央区天神 4-8-10 電話: 092-741-3335



☆ 演目 ☆

ベートーヴェン
弦楽三重奏曲 第1番 変ホ長調 作品3
ブラームス
弦楽四重奏曲 第3番 変口長調 作品67



■主催 福岡いのちの電話後援会
■後援 福岡市

お申込みは、往復ハガキ、FAX又は、メールにてコンサート希望と書き、お名前、住所、(FAX番号)、必要枚数を明記の上、次宛てにお送りください。〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7 福岡いのちの電話事務局、FAX番号: 092-721-4343、メールアドレス: find4343@sirius.ocn.ne.jp

お問い合わせは、福岡いのちの電話事務局へ 電話: 092-713-4343

福岡いのちの電話 チャリティコンサート 弦楽演奏の夕べ

演奏者 プロフィール



原 雅道 ヴァイオリン

国立音楽大学卒業と同時に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。室内楽の演奏会などにも多数出演。他のプロオーケストラ及び室内合奏団のゲストコンサートマスター、ゲストトップ奏者として多数招かれている。クラシック音楽以外の活動も多く様々なジャンルのアーティストとのCDレコーディングやライブ活動、及びTV、映画音楽やコマーシャル等のスタジオワークに参加。服部克久率いる東京ポップスオーケストラメンバー。また各地の大学、市民オーケストラや後進の指導にも当たる。ヴァイオリンを諫訪晶子、徳永二男、室内楽をヘルムート・バルト、ディビット・ティラーの各氏に師事。

2007年1月より九州交響楽団アシスタントコンサートマスター。2012年4月より九州交響楽団アソシエートコンサートマスターとしてコンサートマスター、セカンドヴァイオリントップ、アシスタントコンサートマスターと三役を務めた。2016年4月から九州交響楽団コンサートマスターに就任。



大山 佳織 ヴァイオリン

大分県安岐町に生まれ、北九州市で育つ。ヴァイオリンを篠崎英育、数住岸子、太期晴子各氏に師事、東京音楽大学入学後は、篠崎功子教授に師事。室内楽を、久保陽子、佐藤瑛理子、堀了介、岩崎洸各氏に師事。毎日新聞社主催ヴァイオリン・コンクール西部大会高校部門で優勝。同年、福岡銀行本店ホールで、優勝者記念演奏会で演奏。1992年、九州交響楽団入団。同年より1998年まで、三洋信販クラシック・コンサートで弦楽四重奏団「アンサンブル・コレーゲ」の第2ヴァイオリン奏者を務める。



1993年、日本演奏家連盟主催新人演奏会で、九響と共に演ずる。1995年に、室内楽“アンサンブル MUTU”を結成。2007年まで九州各地で演奏活動。2007年と2016年に、ピアニスト石井克典氏とデュオ・リサイタルを末永文化センターで開催、好評を得る。2008年には九州交響楽団ヴァイオリン首席奏者に任命され現在に至る。九州各地での活発な室内楽演奏活動も高く評価されている。



大山 平一郎 ヴィオラ

大山平一郎は、指揮者、ヴィオリニスト、室内楽奏者、そして教育者としても高く評価されている。京都生まれ。東儀祐二教授にヴァイオリンを師事。後に桐朋学園で、江藤俊哉、鶯見三郎、斎藤秀雄各教授に師事。1968年、英国に渡りギルドホール音楽学校を卒業した後、米国インディアナ大学で研鑽を積む。72年、マルボロ音楽祭に参加して以降、多くの音楽祭に参加。79年にロサンゼルス・フィルハーモニックの首席ヴィオラ奏者に任命された後、指揮の勉強を始める。86年ラホイヤ室内楽音楽祭の初代芸術監督に就任。同年、ロサンゼルス・フィルを指揮、翌年アンドレ・プレヴィンに、同楽団の副指揮者に任命される。



その後、ヨーロッパ、アメリカで多くのオーケストラと共演。日本では91年に京都市交響楽団を指揮してデビュー以降、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー、札幌交響楽団など数多くのオーケストラを指揮している。1992年にはサンタフェ室内音楽祭の芸術監督に、また93年にはニューヨーク州のカユガ室内オーケストラの指揮者兼音楽監督に就任。1973年から03年までカリフォルニア大学教授、1999年から04年まで九州交響楽団の常任指揮者04年から08年まで大阪交響楽団のミュージック・アドバイザー・首席指揮者、07年から09年までながさき音楽祭音楽監督を歴任。現在、米国のサンタ・バーバラ室内管弦楽団音楽監督兼常任指揮者。シャネル・ピグマリオン・デイズ室内楽シリーズのアーティスティック・ディレクター。「Music Dialogue」芸術監督。



原田 哲男 チェロ

桐朋学園大学在学中の1990年に蓼科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部に学ぶ。1997年からは米国ダラス市の南メソヂスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学、同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本、ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコングレスに出演した。1999年から2012年9月末まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務め、その間北爪道夫のチェロ協奏曲（仙台フィル委嘱作品）を初演のほか、定期公演等にソリストとしても出演した。



そのほか仙台市民交響楽団、仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団といった地元のオーケストラとの共演、プラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用された。2001年第4回ビバホールチェロコンクール3位。仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団でも活躍。「松尾音楽助成賞」受賞、また原村室内楽セミナーにおいて「緑の風音楽賞」受賞。2006、2007、2014年には秋吉台室内楽セミナーに講師として招かれた。森川諒一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎洸の各氏に師事。2007年9月より文化庁海外派遣研修員として1年間ドイツに留学。クリスティアン・ギガー氏（ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト）に師事。2013年5月より九州交響楽団首席奏者に就任。ソリストとして、九州交響楽団、また福岡や鹿児島など地元のオーケストラと共に演じ、2016年4月末をもって九響を退団し、現在はフリーのチェロ奏者として福岡市を拠点に、ソロ、室内楽、後進の指導など幅広く活動を展開している。

ベートーヴェン

- 弦楽三重奏曲 第1番 変ホ長調 作品3
第1楽章 アレグロ コンブリオ
第2楽章 アンダンテ
第3楽章 メヌエット
第4楽章 アダージオ
第5楽章 メヌエット モデラート
第6楽章 フィナーレ アレグロ

ヴァイオリン 大山 佳織

ヴィオラ 大山 平一郎

チェロ 原田 哲男

ブラームス

- 弦楽四重奏曲 第3番 変口長調 作品67
第1楽章 ヴィヴァーチェ
第2楽章 アンダンテ
第3楽章 アジタート アレグロ ノンタント
第4楽章 ポコアレグレット コン ヴァリエシオン
第1ヴァイオリン 原 雅道
第2ヴァイオリン 大山 佳織
ヴィオラ 大山 平一郎
チェロ 原田 哲男